

イパスにより、長田小学校学区内の通学路の状況が大きく変わり、通学時の危険性が増すと予想されるが、安全対策をどう考えるか。

A. 〇指摘の、国道354号線と交差する町道一の四号線及び一の七号線については、長田小学校が近接し児童生徒の通学路になっており、昨今通学路における登下校中の児童生徒が巻き込まれるといった、交通事故が発生しているところから、「通学路における交通安全施設設置要望書」が長田地区の各行政区長さんや長田小学校のPTA等関係団体より、町へ提出されたことから、茨城県境工事事務所と通学路の安全確保をするための協議を行っていく考えであります。

〇太陽光発電システムについて

(産業建設部長)

Q. 町公共施設等に太陽光発電パネル設置で財源確保を図る考えはあるか。

A. 平成24年7月から再生可能エネルギーで発電された電気を、電気事業者が固定で買い取る国の制度がスタートしたことを契機として、全国的にも公共施設等の太陽光発電事業が推進されております。今後、先進事例等を参考に太陽光発電事業を積極的に推進し、財源の確保に努めてまいりたいと考えております。

(総務部長)

議席1番 山田 正樹 議員



〇OSサポート終了について

Q. 当町におけるPCのOSの2014年サポート終了、いわゆるXP問題の影響と対策について。この問題は昨年の報道で総務省より発表がありました通りPCの基本ソフト「ウィンドウズXP」が今年の4/9をもってサポート終了いたしました。サポートが終了するとセキュリティ上危険性が高く個人情報等重要なデータを扱う当町においての現況と今後の対策はどうか。

A. 現在、役場で234台保有の内未対策が117台、学校全体で195台のPCがXPのままで、教育に直結するので学校関係を早期に解決しなければならぬと思います。今議会に補正予算を計上しました。なお、最初の見積りで予定の価格まで下げられました。

役場のPCについては当初117台で見積もりが高いのもう少し下げられるよう業者に鋭意努力させております。

ただ、XPのままではセキュリティ上インタンネットにもつなげないので早期にWIN7かWIN8に入れ替えをしなければいけないので臨時議会か9月の補正に計上出来るようご協力をお願いしたいと思

ます。

〇境町公式ホームページのリニューアルについて

(町長)

Q. 情報公開、広報として境町公式HPは境町の情報発信元の一つです。しばらくデザインの更新等見受けられませんが、他の市町村との比較

で町民の方から見づらい等の声が多い数あります。役場の各部、各課におかれましては具体的な行政執行に鋭意努力されていることは承知しておりますがHP上でもこのことが町民に伝わっているかは細かいものがあります。情報伝達はHPだけではありませんが紙ベースよりも閲覧の手軽さもありますし、行政に関心が薄いといわれる若い世代の人たちは伝える側への期待と熱意も持っていると思われま

A. 平成19年にデザイン等再構築し

随時更新出来るように環境整備し見やすくわかりやすいHPの運用に努めてきました。リニューアルについて広報さかいはすでに一新しました。同時にHPにつきましても進めており、具体的にはデザインの変更をはじめ動画の導入や、スマートフォン対応等今以上にわかりやすく利用しやすいHPに一新すべく、業者へ見

積もりを依頼しているところであります。またSMSについても検討しております。

(総務部長)

平成26年第1回臨時会審議結果

平成26年4月25日開会

〇専決処分承認を求めることについて(境町税条例の一部改正)

(即日原案承認)

〇専決処分の承認を求めることについて(境町国民健康保険税条例の一部改正)

(即日原案承認)

〇境町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例案について

(即日原案可決)

〇平成26年度境町一般会計補正予算(第1号)について

(即日原案可決)

人事案件

境町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて

(即日原案同意)

古河市古河800番地8

増田 雅一氏

編集後記

ネット上でもたいへん話題になっ

た号泣会見の県議会議員。あまりにも見るに耐えない映像に気分を悪くしてしまった。会見の様子ばかりが話題になってしまったが、さらに深刻な問題は不明瞭な政務活動費。過剰と思える出張費や不自然な大量の切手購入代、聞けば同じような支出の議員が他にも大勢いるとのこと。証明すべき領収書等も無い多額の支払いもあり、はたして実態が伴うのか疑わしい。これではとても住民の信頼は望むべくもないと痛感した。同様の問題は当該県議会ばかりだけではなく、他にもあるのではと推察されるという。また東京都議会でのセクハラやじの問題もたいへん話題になったが、これに至っては国内のみならず海外からも批判の嵐という事態に。これら一連の事態を目の当たりにして議会をみる有権者のきびしい目というものを改めて強く感じることとなった。住民の負託を得て議会に送り出された同じ立場の者として深く考えさせられたと共に、議員としての使命を真摯に重く受けとめ今後もしっかりと住民の期待に込めていかなければならないと思いを新たにされた次第である。

飯田 進

◎広報編集委員会

委員長 濱野 健司
副委員長 青木 徹
委員 飯田 進
委員 櫻井 実
委員 青木 輝明